

# 指定管理者点検調書

【平成23年度】

〈整肢学院〉

## 1. これまでの主な管理運営の取組み

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由のある児童を治療するとともに、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、その有する能力及び適正に応じ、必要な指導及び訓練を行う。</li> <li>・障がい者雇用の推進と人権研修への積極的な参加</li> <li>・医療設備の充実</li> <li>・理学療法・作業療法及び言語療法の器具等の整備</li> <li>・防災等の安全対策の強化</li> </ul>
------	---

## (指定管理者に対する点検)

### 2. 点検内容

方針	項目	具体的提案	実施状況
平等利用が確保されるよう適切な管理を行うための方策	施設の設置目的及び管理運営方針	府立施設としての設置目的に鑑み、処遇困難児の受け入れに積極的に取り組む。	子ども家庭センター及び関係市町村と連携し、民間施設での受け入れが困難とされる重複障がい児や被虐待児などの支援困難ケースを積極的に受け入れている。また、隣接する府立中津支援学校において、必要な教育の場を提供することで、社会の一員としての自覚を身につけ、集団の中で仲間とともに育ちあえる能力を育成している。
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者が安全で安心して利用できる施設の管理運営。	利用者に対するサービスは、個別支援計画に基づき平等かつ適切に実施している。
施設の効用を最大限発揮するための方策	利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	交通利便な立地条件などを活かすとともに、処遇困難児の支援に積極的に取り組む。	提携する医療機関及び隣接する中津支援学校との連携の緊密さとともに、立地条件が評価されており、利用希望は高い。
	サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の利便性の向上に努める。	利用者ごとに個別の支援計画を定め、それぞれのニーズに応じたサービスを提供するとともに、季節に応じた各種行事に組み込み、快適な住環境が提供できるよう努力している。
	施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	快適な住環境を提供するため、必要な維持管理を実施。	入所利用者等に対し、衛生面及び安全面に配慮しつつ、快適に利用できるよう維持管理を行なっている。
管理に係る経費の縮減に関する方策	施設の管理運営に係る経費、納付金等の内容	管理運営経費の削減に取り組む。	利用者へのサービスの質を低下させることなく、清掃部門及びクリーニング部門について、一部外注化を図るなど、経費の削減に引き続き取り組んでいる。
適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	収支計画の内容、適格性及び実現の程度	経費の縮減に努め、適正な収支計画を作成する。	収支計画は概ね適正であり、安定的に施設運営が行われている。
	安定的な運営が可能となる人的能力	適切な人員配置と人材育成に努める。	入所利用者等のプライバシー保護に努めるとともに、職員に対し介護・保育・医療等に必要の技能を習得させるため、研修会・講習会等に積極的に参加させている。
	安定的な運営が可能となる財政的基盤	提携する医療機関と連携し、安定的な運営に取り組む。	当該指定管理者は他の医療機関を含めた管理運営を行っており、安定的に運営されている。
その他管理に際して必要な事項	府施策との整合 ・府・公益事業協力等 ・行政の福祉化 ・府民、NPOとの協働 ・環境問題への取組み	法人において就職困難者の雇用を実施する	障害者就業・生活支援センターを活用し、法人において就職困難者の雇用を実施している。
総合	社会福祉法人恩賜財団済生会中津医療福祉センター及び府立中津支援学校と連携し、利用者に必要なサービスが提供されている。		